

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年1月1日～ 2023 年12月31日)



赤穂建設株式会社

〒399-4102 駒ヶ根市飯坂1-12-3

<http://www.akahokk.com>

作成日： 2024年2月28日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	11～12

□ごあいさつ

弊社の企業理念である（都市と人と環境に寄与し続ける・地域の孫の手のような企業であり続ける）は、エコアクション21並びにSDGsの達成の達成と目的を同じくするものであり、社員皆が自覚し、個々の役割を果たすことによりエコアクション21並びにSDGs達成に貢献していきます

環境経営方針

<環境経営理念>

「地域密着 = 地域のかゆいところに手が届く企業」とであると認識し、『地域の孫の手』のような存在として自然と地域に貢献しながら、自主的・積極的に、環境への取組を推進します。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギー等により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 化学物質の適正管理に努めます。
6. 環境に配慮した工事に努めます。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2011年10月18日

改定日：2016年5月11日

代表取締役社長 中村信太郎

□組織の概要

更新日：2024年2月28日

- (1) 名称及び代表者名
赤穂建設株式会社
代表取締役社長 中村 信太郎
- (2) 所在地
本 社 長野県 駒ヶ根市 飯坂 1丁目12番3号
資材倉庫 長野県 駒ヶ根市 飯坂 1丁目10番38号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者・担当者(兼務) 代表取締役 中村信太郎
電話：0265-83-7181、ファックス：0265-83-1170
- (4) 事業内容
建築・一般土木・リフォーム工事、宅地建物取引業、コインランドリー業、解体工事業
- (5) 事業の規模
売上高 22,045 万円 2,023
- | | | | | |
|-------|-------------------------------------|--------------------------------|--|-----|
| | 本 社 | 資材倉庫 | | 合計 |
| 従業員 | 名 9 名 | 0 名 | | 9 |
| 延べ床面積 | m ² 116.8 m ² | (倉庫169+機材置場350) m ² | | 636 |
- (6) 事業年度 1 月 1 日 ~ # 月 # 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 赤穂建設株式会社
対象事業所： 本 社
資材倉庫

対象外： なし
活動： 建築・一般土木・リフォーム工事、宅地建物取引業、コインランドリー業、解体工事

□事業や製品(商品)の紹介

主な事業の紹介

総合建設業
宅地建物取引業
コインランドリー業

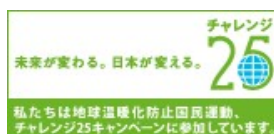
施工例の紹介



サービスの紹介

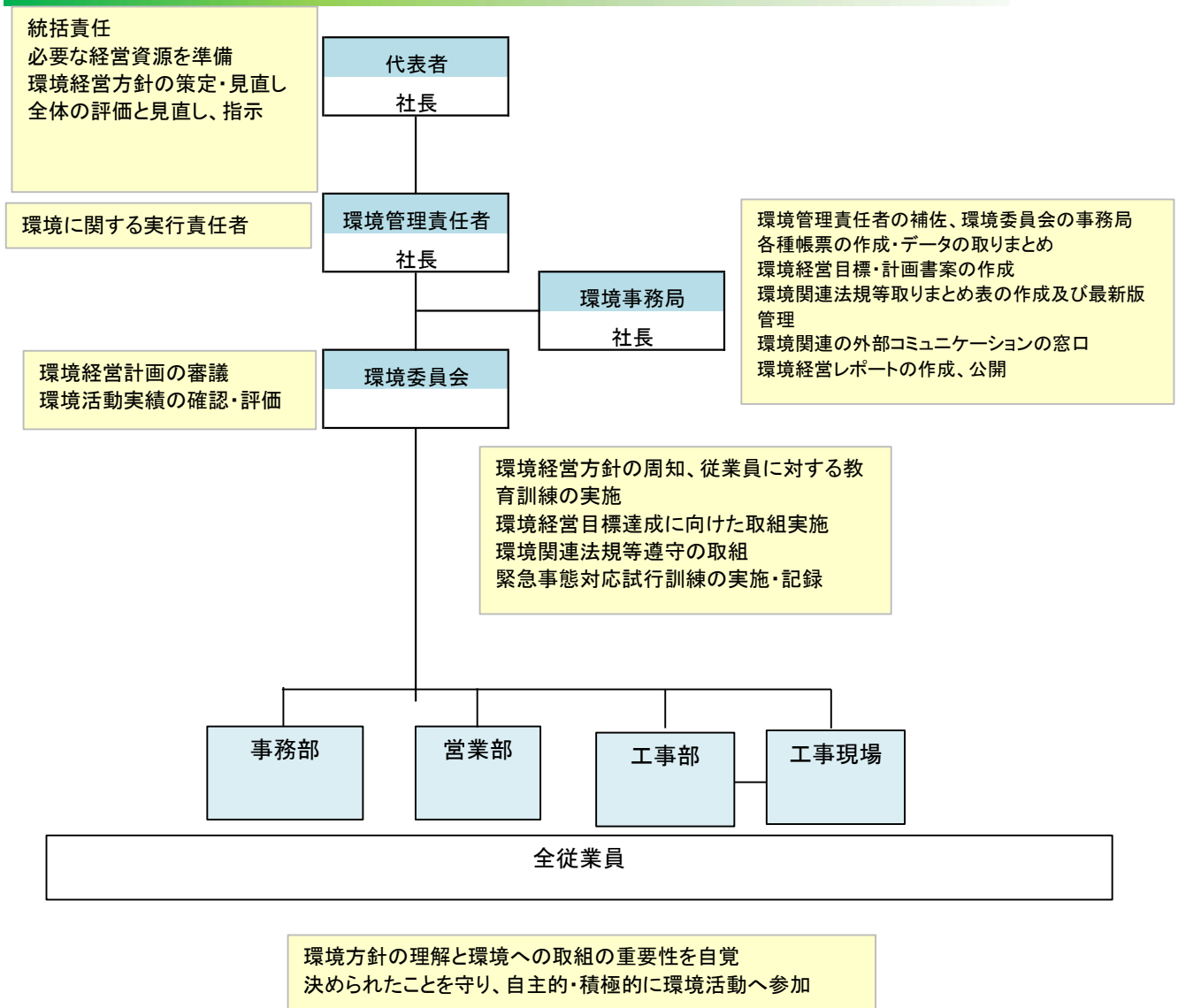


弊社の環境活動の遍歴



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2017年4月11日



□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	59,528	46,877	57,860
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	24	288	288
産業廃棄物排出量	kg	709,000	9,265	244,270
水使用量	m ³	581	485	509

※二酸化炭素排出係数 0.473 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

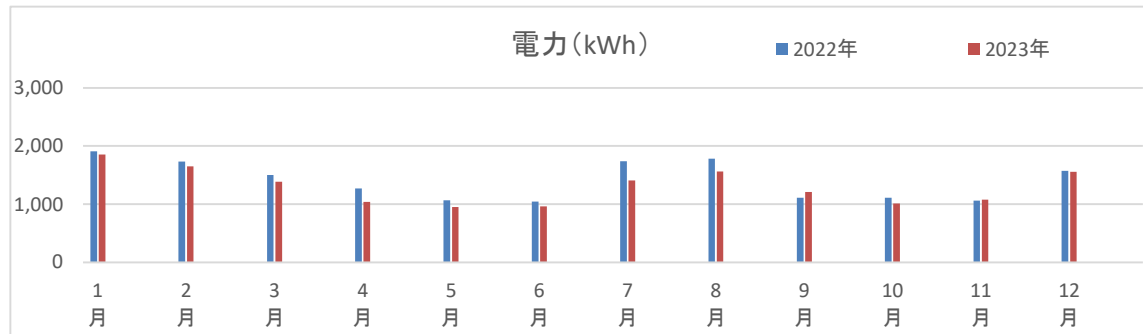
年 度		2022年	2023年		評価	2024年	2025年
項 目		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	8,116	8,035	7,424	○	7,954	7,873
	基準年度比	2022年	99%	91%		98%	97%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	22,139	21,917	19,220	○	21,696	21,474
	基準年度比	2022年	99%	87%		98%	97%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	493	488	1,653	×	483	478
	基準年度比	2022年	99%	335%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	16,129	15,968	29,563	×	15,806	15,645
	基準年度比	2022年	99%	183%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	46,384	45,920	57,860		45,456	44,992
一般廃棄物の削減	kg	288	282	288	×	282	279
	基準年度比		98%	100%		98%	97%
建設副産物の再資源化率の向上	%	100%	100%	100%	○	100%	100%
水道水の削減	m ³	485	480	509	×	475	470
	基準年度比		99%	105%		98%	97%
環境に配慮した工事の推進	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

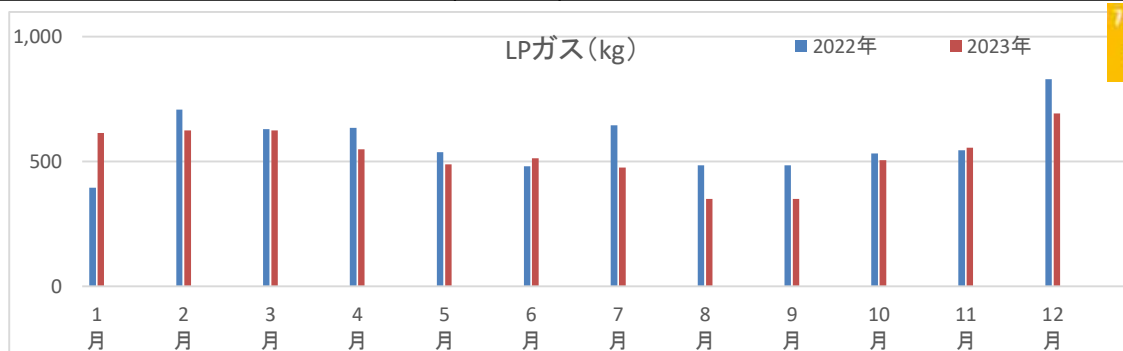
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】執務する箇所については可能な限り照明器具はLEDに変更。外出時やお昼休憩などは消灯に努めた。エアコンは年間通じて運転しないよう心掛けている。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	【次年度の取組み】固定経費としてはやり尽くした感があるが事務所のエアコンがフロン仕様のため、決算状況で更新の有無を判断する要素の一つである。
・不要照明の消灯	○	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	○	
・作業・業務の見直しによる効率化	○	



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	1,911	1,733	1,501	1,273	1,071	1,046	1,740	1,782	1,110	1,110	1,067	1,576
2023年	1,857	1,651	1,387	1,039	950	968	1,407	1,567	1,216	1,011	1,080	1,563

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】・コインランドリーでの売上に影響するため、一概にこの数字の評価はできない。この数字ばかりは、売上上がって何歩何で数字が伸びないと困る。
・乾燥機のメンテナンス	○	【次年度の取組】LPGはコインランドリーで使用する為、利用人数や売上高による評価を検討しても良い。



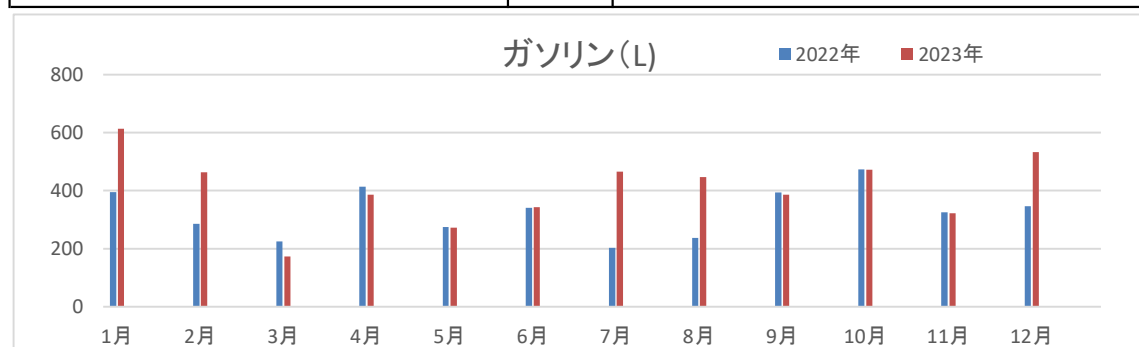
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	395	708	629	634	537	480	644	484	484	532	545	828
2023年	614	625	623	549	489	513	476	350	350	505	555	691

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【評価】今期は現場事務所の利用が多かったので使用量が増加した。
・暖房時の温度管理	○	【次年度の取組】引き続き暖房の適正利用に努める。現場事務所の工事件数や売上で評価する方法も検討する。

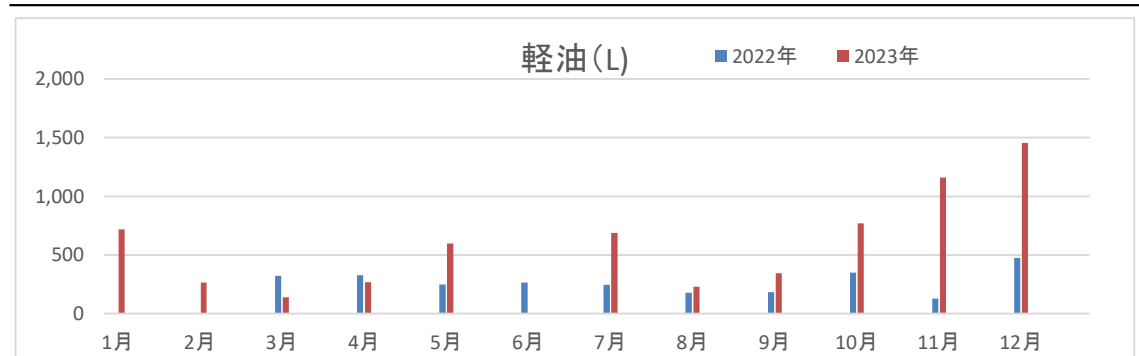


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	90	18	0	18	0	0	0	0	0	0	18	54
2023年	323	162									35	144

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【評価】工事量増加により使用量が増えた。
・アイドリングストップ	○	【次年度の取組】工事の受注による使用燃料の増は止むを得ないが、現場までの相乗りやエコドライブの徹底を図り、目に見えない削減を行なうこと。

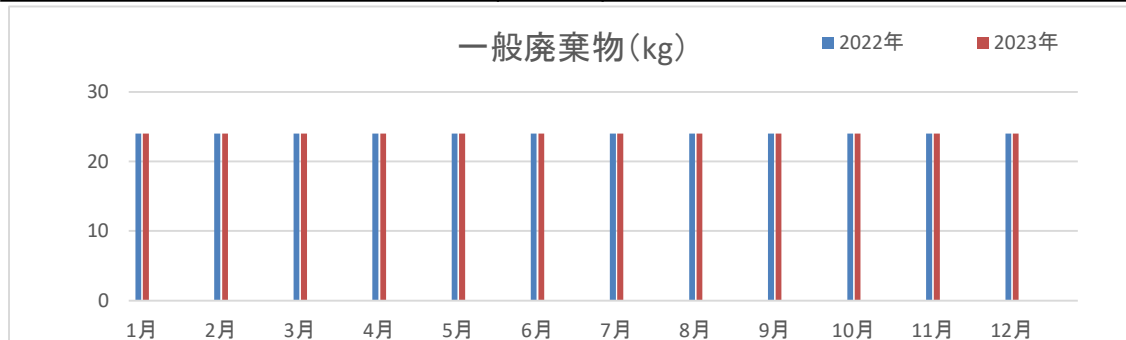


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	395	286	225	413	275	341	203	238	393	474	326	347
2023年	614	464	173	386	272	343	466	447	386	472	322	532



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	6	0	321	329	248	264	245	178	184	352	127	476
2023年	717	265	140	267	599	0	688	230	343	772	1,159	1,456

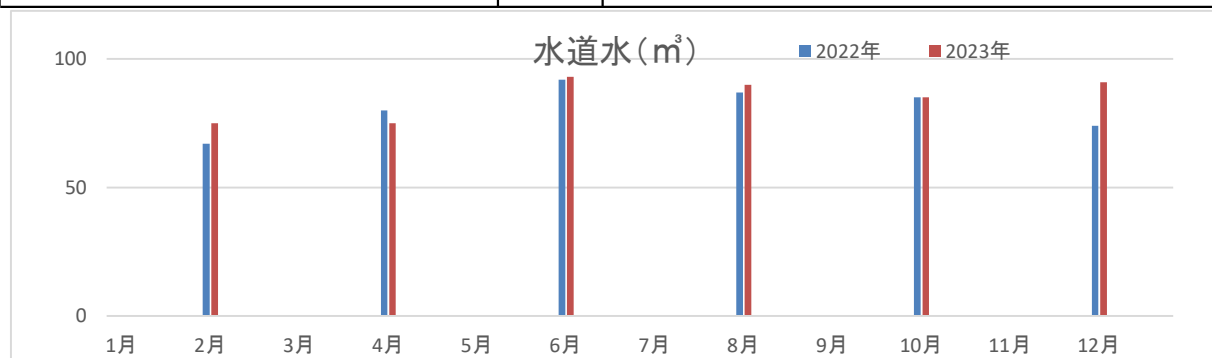
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【評価】問題意識を常に持ち一般ゴミの減量化に努めた。
・分別の徹底	○	【次年度の取組】次年度は更に分別の徹底を行う。
・梱包材の再利用（封筒）	○	
・持込ごみの見直し	○	



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
2023年	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】目標を達成した。
・分別の徹底	○	【次年度の取組】引き続き活動を継続する。
・再資源化先の開拓	○	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【評価】水道水の使用量については、CLの使用が主で売上が増収であるため削減にはつながりづらい。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	【次年度の取組】節水調整が可能な検討する。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	0	67	0	80	0	92	0	87	0	85	0	74
2023年	0	75	0	75	0	93	0	90	0	85	0	91

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化	○	【評価】おおむね達成できた。
・作業ミスの防止	○	【次年度の取組】数値的なデータを取得する。
・顧客クレーム削減	○	
・廃棄物の再資源化の推進（別項目で実	○	

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	○	【評価】おおむね達成できた。
・企業PRによる顧客獲得	○	【次年度の取組】数値的なデータを取得する。
・事業拡大のための資金調達、人材確保	○	
・新製品・商品開発	○	
・働き方改革	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	特定建設作業の届
振動規制法	特定建設作業の届
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023/6/11	■実施場所
■参加者： 中村、中村、斎藤、澤、野々村	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 土嚢・消火器の使用確認ができた。	手順書の変更の必要性 ☒ あり ☐ なし
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定： 油流出事故の発生	
■実施日：	■実施場所
■参加者：	■実施内容： ・流出事故対応、通報訓練
■評価：	手順書の変更の必要性 ☒ あり ☐ なし
■実施状況の様子	
Empty space for implementation status	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年12月25日

①環境目標の達成状況を確認。

- ・削減できる部署と削減しては困る部署が混在しているため、中々難しい。中でも従業員の意識の徹底を図る。
 - ・コインランドリー店舗での売上が増収になったため、購入電力(動力)や水道水の使用量が間接的に増加した。反面、それ以外での本社、工場、現場事務所での購入電力の削減を徹底する必要がある。
- 化石燃料の消費については、暖機運転やアイドリングなどを止めて、エコドライブを徹底する。
LPガスにおいても、コインランドリー利用者数とLPガス使用量の相関関係を調査し次年度の目標設定と推移

環境経営方針
環境経営目標・計画
実施体制

☒ 変更なし
☒ 変更なし
☒ 変更なし

☐ 変更あり
☐ 変更あり 実績を踏まえて見直すこと
☐ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介



弊社に隣接している歩道が近接している小学校の通学路になっているため、定期的に除草やゴミ拾いを実施。

<工事現場>



環境、エコを意識したコーポレーションシートを作成し、現場の目的物に応じて張り分けを行った。



<工事現場>

